

椿峰まちづくり
シンポジウム
2020



入場
無料



椿峰ニュータウンは狭山丘陵の端部、山口地区と小手指地区の境界部に位置し、乱開発を抑止し、良好な住環境を創出することを目的として1970年代に計画され、1980年代から入居が始まりました。開発にあたっては自然保護団体から訴訟も起こり、豊かな環境をまもるため「所沢市椿峰協定」が結ばれました。結果として椿峰は抑制された建築と豊かな緑地が共存し、狭山丘陵の自然と一体となった緑豊かなニュータウンとして成熟しましたが、その椿峰にも住民の高齢化やコミュニティの空洞化、空き家の増加や公共施設の老朽化など、計画住宅地ならではの課題が見られるようになりました。本シンポジウムではそのような椿峰のまちづくり上の課題を整理し、住民と行政が協力して新しい住宅地のあり方を見出すため、開発の資産であり、未来をつくる資源でもある椿峰のみどりに着目し、討議を行います。

椿峰のみどりから考える

アクティブな椿峰ニュータウンをめざして

日時 2020年2月16日(日) 13:30-16:30 (開場13:00)

会場 椿峰コミュニティ会館別館 ホール
(所沢市山口5057)

ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください

- 小手指駅南口から西武バス椿峰ニュータウン行き「中央公園」下車
- 下山口駅から徒歩15分

定員 255人

対象 どなたでも
参加できます

申込

資料準備のため大変お手数ですが、可能な限り事前申し込みをお願い致します
申込期限：2020年2月9日(日) 氏名・所属・メールアドレス・人数を記入し、下記のアドレスまでお送りください

tsubakimine2020@gmail.com
当日参加も可能です

お問い合わせ先

所沢市役所街づくり計画部都市計画課
(担当：増子・小暮) 連絡先：04-2998-9192



プログラム

第1部：基調講演

「エコロジカル・デモクラシー
自然を治すと社会が直る、
社会を治すと自然が直る、という不思議な回路」

土肥 真人 (東京工業大学環境・社会理工学院建築学系准教授 / 一般財団法人エコロジカル・デモクラシー財団代表理事)



基調講演 土肥 真人氏 プロフィール

京都大学博士(農学, 1993)1961年生まれ。京都大学農学研究科修了し、カリフォルニア大学バークレー校環境デザイン学客員研究員、ミラノ工科大学建築学客員研究員、1996年から現職。主な著書に『まちづくりの方法と技術～コミュニティ・デザイン・プライマー』(1997年, 現代企画室)、訳書に『エコロジカル・デモクラシー』(2018年, 鹿島出版社)

第2部：討議

「アクティブな椿峰をめざして」
ニュータウン住民を交えたディスカッション

モデレーター(司会):

藤村 龍至 (東京藝術大学准教授・所沢市景観審議会副会長)



#まちづくりルール #公共施設マネジメント #公園利活用 #コミュニティガーデン #アンケート #エコロジカル・デモクラシー